

GOVERNOR'S Monthly Letter

Rotary International District 2800
2007—2008



9

vol.3
ガバナー月信
第3号



国宝／上杉本洛中洛外図屏風一左隻（上杉博物館所蔵）

国際ロータリー第2800地区
【2007～2008】

ガバナー：大友 恒則

RI会長：ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

RI理事：渡辺 好政／小沢 一彦

重要文化財

こんびらしゃそでがわりじんばおり
紺緋羅紗袖替陣羽織
室町～桃山時代（16世紀）

南蛮舶来の羅紗製陣羽織である。緋色、紺色、萌葱色の構成で、より一層大胆にして鮮烈な印象を与える。裏地の萌葱地菊牡丹唐草模様緞子の織細さも、表地と好対照で美しさを主張している。

上杉神社 所蔵



地区大会の目的とねらい



国際ロータリー第2800地区
2007-2008年度ガバナー

大友 恒則

国際ロータリー細則第15条地区規定15.040に地区大会があります。その中で「ガバナーと地区内クラブ会長の過半数の合意によって定められた時及び場所に於いて、地区内ロータリアンの大会を毎年開催するものとする」とあります。そして開催地の選択、(15.040.2) 地区大会の決定(15.040.3)等がありその地区の重要な事柄について勧告を採択することが出来る。但しこのような勧告は、定款および細則と一致し、ロータリーの精神と本質に沿うものである事とされています。従って地区大会は諸々の手続きを経て重要事項を採択し報告する場であり、またR I会長代理を迎え、R Iの理念とR Iの目

標とすること等を聞く機会でもあります。年に一度地区内ロータリアンが一同に会し、一方に於いて重要な事柄の採択と報告、R I情報の聴取であり一方に於いては親睦と友情の交流の場でもあります。

2800地区内2000名余の会員が集合し諸々のロータリー情報を共有する事は当然としてその大会が会員にとって、参加してためになった、参加して楽しかったと言われる大会でなければなりません。

今年の大会は現実にかかわる点を粛々と進め、R I会長代理Ju-In Park氏(韓国・第3610地区パストガバナー)をお迎えし、R Iの現況の報告を拝聴しかつ記念講演として東北大学大学院環境科学研究科教授 石田秀輝氏を迎え自然のもつエネルギーの大きさとその人間生活に及ぼす影響の大きさと重要性について学ぶ機会にしたいと思っております。大懇親会も極めて重要な行事です。地区大会はその地区の年に一度の「祭」的要素を大としていると思います。「考え、学び、楽しく会話する」場だと思います。多くの会員の出席を期待しています。

* 地区大会のご案内 *

2007▶2008

国際ロータリー第2800地区 地区大会

○大会第1日 10月6日(土) 東京第一ホテル米沢

○大会第2日 10月7日(日)

本会議 米沢市市民文化会館

懇親会 グランドホクヨウ米沢

Contents

ガバナーメッセージ	2
「新世代の為の月間」について	3
職業奉仕セミナー報告	4
第17回インターアクト年次大会	5
第1回ロータリー財団セミナー	6
文庫通信	6
第1回YEO会議報告	7

広報・情報委員会	8・9
ロータリー財団奨学生報告	10・11
ポールハリスフェロー	12
新入会員・物故会員	12
ガバナー公式訪問記	13
クラブ会員数	14
ロータリーダイジェスト	15

9月「新世代の為の月間」について



奉仕プロジェクト委員会
大委員長

森光 雅一

(天童西ロータリークラブ)

RYLA

8月の初めあるボランティア活動の集まりで高校生から声をかけられました。

「おじさん、ライラに居た人だよね。」

飯豊少年自然の家で行われたライラ研修に私は久しぶりに参加したのですが、ただその会場に座っていただけなのに覚えていてくれたとは。

「えっ、そうだけど。どうしてライラに参加したの？」

「学校に貼ってあったパンフレットを見ておもしろそうだったから。」

2800地区の地道な活動がこんなところでもうかがえる瞬間でした。

RYLAとはロータリー指導者養成プログラムです。2800地区の場合、地区が主催し、新世代委員会と、クラブにお願いしてのライラ実行委員会が実行しております。2800地区は参加する年齢層を厳しく絞り込んでおらず、インターアクト、ローターアクトを基本とし、県内の高等学校にも積極的に働きかけております。冒頭にお話したあの高校生もその一人です。ライラ研修を通じて学び取った指導者としての能力の高まりを、成人したらロータリーに関わって活用していただきたい。そう願っています。

ロータリー青少年交換

2800地区ではここ数年2～4名の青少年交換を行っております。ホスト、スポンサーとなってくださっている各クラブの皆様方には深く敬意を表します。一年間の長期交換プログラムを終えてそれぞれの国へ帰る子供たちを見ているとその効果の絶大さに計り知れないものを感じております。私は彼らを送り出すときにいつも

伝えております。

「成人したらロータリーに恩返しをして欲しい。そして、ロータリアンになって欲しい。」

インターアクト

8月初め、第17回インターアクト年次大会が中山町で開かれました。県内7つのインターアクトが集まり指導者としてここでも高校生たちはその技能を磨いていた訳であります。

ローターアクト

ご存知のように2800地区は6つのローターアクトクラブを持ち、18歳から30歳までの青年が集まり地域単位のクラブとして活動しています。会員の減少が叫ばれて久しくなりますが私はここで述べたいことがあります。それは、青年はローターアクトとロータリーに関わることでより多くの奉仕の心やリーダーシップを発揮する機会を得られるということです。この組織を理解して大いに参加して欲しいです。

青少年を育てるためのプログラム

ここまでが今まで2800地区の新世代のためのプログラムと言われてきました。でも私はそれだけではないという気持ちを強く持っております。まず第一にポリオ撲滅キャンペーンです。ポリオ撲滅を私たちは誰のためにして来たのか。幼い子供たちです。十数カ国に及ぶ幼い子供たちです。言い替えればその国の新世代の人たちのためです。

次に、今2800地区にはWCS基金を有効に活用して行っているプログラムがあります。フィリピンの子供たちのために使っている識字率向上プログラム。これも、新世代のためのプログラムと信じております。

今まで述べてきたプログラム以外に国際親善奨学生でお世話になった人たちがいるし研究グループでお世話になった職業人もいます。この人たちも次の時代を担う世代です。

最後に申し上げたい。ロータリアンはこのような多くの新世代の人たちのため様々なプログラムを支援しているのです。

職業奉仕セミナーの報告



職業奉仕委員会
大委員長

和田 廣
(南陽東ロータリークラブ)

大友ガバナーの職業奉仕に対する熱い思いの中で、特にロータリーの職業奉仕をもっと多くの人に、そしてもっと早く学んで欲しいという意向を受け、初めての試みと思いますが、入会3年未満、又50才以下の若い人を主体にいたしましたセミナーを、7月21日(土)に鶴岡市で第1ブロック～第3ブロックを対象に総勢80名の参加を頂き開催いたしました。又、翌週28日(土)には南陽市において、第4ブロック～第6ブロックを対象に、総勢120名の参加を頂きセミナーを開催いたしました。両セミナー共講師に米沢中央R.Cのバスト会長の上杉勝己氏にお願い致しました。大友ガバナーの挨拶の後、豊田カウンセラーの職業奉仕の基本的なところや大事な点をお話いただいた後、上杉氏の体験から出てくる奉仕の理念や考え方を大変楽しく、わかりやすくお話しを頂き、参加者の方々も居眠りするような人も全くおらず、本当に良い話だったということで感動をいただき大変喜んでいただきました。特に歴代のバストガバナーの方々を例にしてお話いただきましたことは、自己を高め精神性を高められた、バストガバナーの方々の共通点は、心配りや思いやりが素晴らしい事と、その事を実践されておられる事だと思



▲講師 上杉 勝己氏 (米沢中央ロータリークラブ)

いました。又心配りや思いやり(高い精神性)とそのことを実践すること自体が職業奉仕であり、それを職業に生かしていくことの重要性もお話し頂き、ロータリーの職業奉仕について少しずつわかっていただけたのではと思います。

まとめてみますとロータリーの奉仕の意味がわからないと職業奉仕はわからないということで「ロータリーは学ぶ場であり、自己研鑽をすることで、その中で自己を高め、精神性(思いやり・分別・他人に譲る心等)を高めて、職業に生かすこと、実践することが職業奉仕である」ということをお話頂いたと思います。

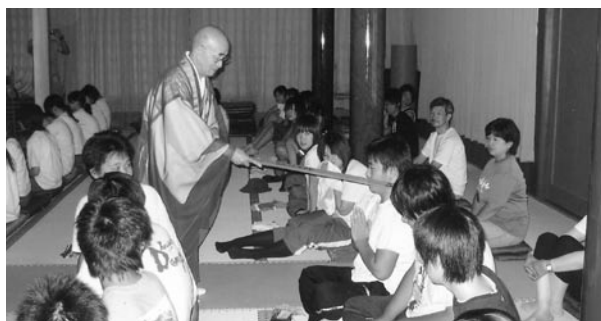
又、職業を通じて奉仕することは、良い製品をつくる事・良いサービスをすること、社会に必要とされ・顧客に喜んでいただける事を常に心がける。ロータリーの奉仕の考え方は「人は自分の事を考える事だけでなく、他人(お客様)のことを真剣に考え、他人(お客様)のために誠実につくすことによって、はじめて自分の幸せ(会社の発展)をつかむ事ができる」という考えを十分に理解しなければならないと思います。又、仕入先に対する思いやりの心と感謝の心を持つ事、そして社員教育をしっかりと会社へ貢献出来る人、家族の長として、地域のリーダーとして活躍できる人を育てる事、この事が結果として社会奉仕にも大きく繋がるものと思います。

社会の為に、お客様の為に、真剣に考え・誠実につくすこと、そして社員教育をしっかりとすることも職業奉仕と考えます。

第17回インターアクト年次大会

地域の歴史と文化に触れ自己研鑽

インターアクト
小委員会委員長 佐藤 清一
(米沢上杉ロータリークラブ)
(下写真○内筆者)



10代の若者に奉仕活動をする機会や指導者としての能力を高めてくれるインターアクトの2800地区年次大会は中山町「ゆらら」で天童ロータリークラブがスポンサークラブ、山形電波工業高校がホスト校となり8月2日(木)・3日(金)の2日間開催されました。

7校(クラブ)53名のインターアクト会員と各校顧問の先生とロータリアンは初日37度、2日目35度の中、暑さに負けず立派に大会を成功させました。

今回の大会テーマは『考えてみよう～地域の歴史と文化』で、講演と山寺散策が柱でした。

講演は、地元天童の長瀬一男氏の「^{なぞがく}謎学の旅『もう一つの山寺』」でした。長瀬氏は歴史研究家で特に山寺立石寺に詳しく、自身の著書も出され多くの論文を発表されている方です。

200年以上の前のことを見た人はだれもいな

い。歴史は、謎をとく推理学であるとする長瀬氏は「まず、常識を疑ってみる。自分だったらこうする、こう思う。と考えることが大事なこと。それは、人生でも大事なこと。」として、平安時代の830年に山寺の建てられた謎を多方面から解説して下さいました。また、自分たちの身近なところの歴史にも触れ日本の宗教と神様をわかりやすく教えてください、アクト達の興味を引いていました。

夕食後は、『ボランティア活動に活かす作品作り』として、『手づくり・ハーブ入り石けん講座』がおこなわれ、初めて出会った班の仲間と思い思いの型に楽しみながら石けんづくりに挑戦しました。

2日目、いよいよ山寺に行き、早速、座禅を体験し心の反省をしたところで、住職様の教えをいただきました。アクト達は「相手を思いやる」ころの持ち方を学び、猛暑の中、石段を汗だくで登りました。本当に良いお話しと良い体験をしたと思います。

「ゆらら」に戻り各校の活動報告、ロータリーから奉仕プロジェクト委員会大委員長森光雅一さん、カウンセラー藤川享胤さんのメッセージがあり閉会しました。最後までアクトの目は輝いていました。



▲国際ロータリー第2800地区 第17回インターアクト年次大会 H19. 8. 2～3

第1回ロータリー財団セミナー

ロータリー財団委員長 **佐藤 豊彦**
(天童ロータリークラブ)

平成19年8月4日(土)、台風5号が日本海を北上して悪天候にもかかわらず多数の会員の参加を頂き、大友年度に入り、第1回目のロータリー財団セミナーが鶴岡市の東京第一ホテルにおいて開催されました。

大友ガバナーと、第1ブロック小松ガバナー補佐を迎え、今年度地区の目標20万ドルが達成出来ますように、そして、その浄財が世界平和と国際理解の上にたったプログラムとプロジェクト活動に生かされることが、ロータリーの奉仕の実績つながることを、我々ロータリアンが認識できた会議となりました。

協議は、ロータリー財団の今年度の活動方針と具体的な取り組み方について。

- (1)地区の目標 20万ドル、1人当たり120ドル、0クラブの無いように。
- (2)今年度もロータリーカードの拡大を図る。クラブ3名以上。
- (3)R財団 奨学金派遣学生の広報と推薦をお願いしたい。
- (4)今年度はGSEの派遣はなく、前年度インド研修されたメンバーをクラブに呼んで体験談を頂く機会を作って頂きたい。



◎財団奨学生OG(1990-91年度アメリカ派遣) **泉川 由起さん**

アメリカでの貴重な体験ができたこと、これもロータリーと言う後ろ楯があったからと感謝のお話がありました。

◎関原年度 GSEインド派遣団長(鶴岡RC) **富田喜美子さん**

団長としてお話を頂きました。苦渋の選択の末インドに行き、いろいろな貴重な体験ができたこと、今後のGSEプログラムに大いに期待したいとお話を頂きました。

◎GSE派遣メンバー(NEC勤務) **熊川 恒志君**

4週間、インドのロータリアンのサポート体制のなかで研修ができた事は、貴重な体験であり、私の一生のなかでこれからも、この様な体験をさせて頂ける機会は無いららうと言う事に感謝の話を頂きました。

このセミナーで、ロータリー財団は多くの事業を行っている事を知り、我々は惜しまない協力を続けていかなければならないと思ったのは私だけでしょうか。

文庫 通信

No.239

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーの課題

◎「パネルディスカッション クラブ活性化」	上條 優雄(コーディネーター)	2007 9P (D.2790地区大会)
◎「ロータリーと私」	佐原 元	2007 8P (D.2800地区大会)
◎「時間に愛を込め、仕事に愛を込めることを」	深川 純一	2006 10P (D.2580地区大会)
◎「社会奉仕について」	野崎 元治	2006 11P (D.2740地区協議会)
◎「CLPの一考察」	成川 守彦	2007 10P (D.2640月信)
◎「CLP研修委員会の報告」	三木 靖	2007 2P (D.2730月信)
◎「参考!! CLPアンケート」		2007 2P (D.2830月信)
◎「危機管理委員会設置の目的、経緯・内容」	落合 雅雄	2007 5P (D.2550月信)
◎「危機管理委員会設置の目的、経緯及び内容等について」	本山 新三	2007 4P (D.2680月信)
◎「ロータリーとは? -ロータリアンであることの意義」	成川 守彦	宇都宮北RC 2007 40P

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

[申込先:ロータリー文庫]

【ロータリー文庫】 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

第1回青少年交換委員会・ホストクラブカウンセラー、 ホストファミリー連絡会議

- 【出席者】** ●2800地区：大友恒則ガバナー、武田和夫ガバナーエレクト、森光雅一奉仕プロジェクト委員会委員長、佐藤斌地区幹事、鈴木博雄地区資金委員長、今井健次地区副幹事
●青少年交換委員：小松栄一、吉田 実 ●国際関係事務局：花輪美恵
●ホストクラブ：鶴岡ロータリークラブ、天童ロータリークラブ、尾花沢中央ロータリークラブから、会長・青少年交換委員長・ホストファミリー代表者・受入れ学校カウンセラー
- 【欠席者】** 藤川享胤奉仕プロジェクト委員会カウンセラー

去る7月14日、寒河江市において2007-08年度第1回地区青少年交換委員会と青少年交換学生ホストクラブ担当者、カウンセラー、ホストファミリー連絡協議会が開催されました。佐々木源幸青少年交換委員長は、全国青少年交換委員長会議に出席のため当日は欠席されました。昨年Rotary internationalより示された虐待とハラスメント予防に関する指針に従い、本プログラムに携わる人には必ずこの会議に出席し、プログラムに関する講習を受けていただく事が義務化されました。たとえガバナーであろうとも、この講習を受けなければ本プログラムに参加する事は許されない。

委員会では、ガバナーはじめ全ての参加者に対し青少年交換プログラムの概要を説明し、さらに虐待とハラスメント予防に関する講習会を行いました。まず、青少年交換プログラムは本プログラムに参加する各ロータリークラブが実施の主体となりますが、派遣学生の募集やオリエンテーションに関しては、地区内での研修内容の統一を図るため地区委員会が一括して行ってきた事を説明しました。次いで、虐待とハラスメントに関する研修をRotary Internationalより示された研修の手引きに従って行いました。虐待とハラスメントは、それを受ける側の意識とそれを行う側の意識のレベルの差によって発生する事を示し、受入れする側の虐待とハラスメントに対する意識を向上させる必要性について説明しました。

受入クラブ担当者、カウンセラー、ホストファミリーとの協議においては、委員会同様青少年交換プログラムの概要について説明したあと、受入クラブ、クラブカウンセラー、ホストファミリー、受入れ高校カウンセラーのマニュアル

に沿ってそれぞれの役割について説明と協議を行ったあとに、虐待とハラスメント予防に関する研修を委員会と同様に行いました。各クラブからは、それぞれの実情にあった質問が寄せられました。今回は受入れ高校のカウンセラーを務めてくださる先生方にも参加していただき、私達ロータリーからの要望をお聞きしていただける機会が設けられた事は、大変有意義な会であったと感じています。最後に、本プログラムに参加される皆様にボランティア誓約書提出のお願いをし、会議を終了いたしました。

今回の連絡会議には、受入れ高等学校のカウンセラーを務めてくださる先生にも初めて参加頂きました。これまで以上に本プログラムに関する地区内の意識統一を図り、参加する学生達が有意義な一年を送る事ができるように話し合う場を設けられた事は、私達青少年交換委員会のメンバーにとっても意義深い一日であったと感じています。今後とも、地区内ロータリークラブの皆様の本プログラムに対するご理解を深めてい頂けるように活動していく決意を固めた一日でした。(青少年交換委員会 小松 栄一)

速報

ウィルフリッドJ.ウィルキンソンRI会長は平成19年10月20～21日に開催される第2790地区(千葉)地区大会に、藤川享胤パストガバナー(鶴岡RC)をRI会長代理として指名されました。同氏ご夫妻はRI会長ご夫妻の代理として出席されます。

また、同氏は平成19年9月15～16日に開催される第2540地区(秋田)地区大会及び平成19年10月5～7日に開催される第2500地区(北海道東部)地区大会において講師として基調講演をされます。

ロータリー 広報・情報委員会

RID2800電子メールアドレス設定のお願い

ICO 小委員会委員長 横尾 博 (天童東ロータリークラブ)

これまで地区において各クラブの電子メールアドレスを取得すると共に、メーリングリストに登録し運用して参りましたが、まだまだ未接続のクラブがあるようです。

つきましては各クラブにおきまして、次の6点に対し実施・運用の徹底をお願い申し上げます。

- ①クラブ内でRC電子メールの送受信を行う担当者を決定してください。(事務局担当者、ICO担当者、会長・幹事、その他適任者)
- ②決定した担当者のインターネット接続可能なパソコン内のメールソフト(Outlook等)に、ガバナー事務所より郵送されている情報を設定してください。(電子メールアカウントの追加設定)
- ③年度替わりなどで担当者が変わった場合は、後任担当者が②項を実施してください。前任担当者は、②項で設定したアカウントを削除してください。
- ④通常の個別連絡は、地区メールアドレス一覧のメールアドレスを活用してください。
- ⑤各クラブ全体に一斉に情報を発信する場合は、ガバナー事務所経由でメーリングリストに投稿します。(先ずは、発信内容をガバナー事務所へメールしてください。)
- ⑥何らかの事情で、指定のメール設定が出来ないクラブは、地区メール担当者の現在ご使用中のメールアドレスをpostmaster@rid2800.jpまでお知らせください。転送指定を設定します。



このシステムが完全運用されると、地区における情報伝達のスピードアップはもとより連絡事務費及び通信費の大幅な軽減につながります。本趣旨をご理解いただきご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、プロバイダのセキュリティ強化の関係で、メール送信の際に送信エラーが出る場合があります。その場合は、ご契約のプロバイダのホームページをご覧の上設定を変えてください。

<http://www.rid2800.jp/>より

※下記に主要なプロバイダの設定説明のURLを記しますので参考にしてください。

- <ぷらら> http://www.plala.or.jp/access/study/faq/ser/mail/win/outlook_ex/index.html#587
- <ASAHIネット> http://asahi-net.jp/support/security/op25b_oe.html
- <ニフティ> http://support.nifty.com/support/manual/mail_set/mail/op25b_check_oe.htm
- <BIGLOBE> <http://support.biglobe.ne.jp/settei/mailler/587port.html>
- <so-net> http://www.so-net.ne.jp/support/all/mail_set/sub/index.html
- <Yahoo! BB> https://ybb.softbank.jp/support/trouble_shoot/oe6_op25b.php

RID2800ロータリークラブメールアドレス一覧(2007～2008年度)

クラブ名	メールアドレス	クラブ名	メールアドレス
余目	amarume@rid2800.jp	立川	tachikawa@rid2800.jp
朝日	asahi@rid2800.jp	高島	takahata@rid2800.jp
東根	higashine@rid2800.jp	天童	tendo@rid2800.jp
東根中央	higashine-c@rid2800.jp	天童東	tendo-e@rid2800.jp
平田みすみ	hirata@rid2800.jp	天童西	tendo-w@rid2800.jp
河北	kahoku@rid2800.jp	鶴岡	tsuruoka@rid2800.jp
上山	kaminoyama@rid2800.jp	鶴岡東	tsuruoka-e@rid2800.jp
川西ダリア	kawanishi@rid2800.jp	鶴岡南	tsuruoka-s@rid2800.jp
最上	mogami@rid2800.jp	鶴岡西	tsuruoka-w@rid2800.jp
村山	murayama@rid2800.jp	山形	yamagata@rid2800.jp
村山ローズ	rose@rid2800.jp	山形中央	yamagata-c@rid2800.jp
長井	nagai@rid2800.jp	山形イブニング	evening@rid2800.jp
長井中央	nagai-c@rid2800.jp	山形東	yamagata-e@rid2800.jp
中山	nakayama@rid2800.jp	山形北	yamagata-n@rid2800.jp
南陽	nanyo@rid2800.jp	山形南	yamagata-s@rid2800.jp
南陽東	nanyo-e@rid2800.jp	山形西	yamagata-w@rid2800.jp
南陽臨雲	rin-un@rid2800.jp	山辺	yamanobe@rid2800.jp
西川月山	gassan@rid2800.jp	八幡	yawata@rid2800.jp
尾花沢	obanazawa@rid2800.jp	米沢	yonezawa@rid2800.jp
尾花沢中央	obanazawa-c@rid2800.jp	米沢中央	yonezawa-c@rid2800.jp
小国	oguni@rid2800.jp	米沢おしょうしな	oshoshina@rid2800.jp
大江	ohe@rid2800.jp	米沢上杉	uesugi@rid2800.jp
寒河江	sagae@rid2800.jp	遊佐	yuza@rid2800.jp
寒河江さくらんぼ	sakuranbo@rid2800.jp		
酒田	sakata@rid2800.jp	事務所	メールアドレス
酒田中央	sakata-c@rid2800.jp	ガバナー事務所	office2007@rid2800.jp
酒田東	sakata-e@rid2800.jp	ガバナーエレクト事務所	office2008@rid2800.jp
酒田湊	minato@rid2800.jp	ガバナーノミニー事務所	office2009@rid2800.jp
酒田スワン	swan@rid2800.jp	地区ICO担当	DICO@rid2800.jp
新庄	sinjo@rid2800.jp	地区補助金小委員会	DGSC@rid2800.jp
新庄あじさい	ajisai@rid2800.jp	国際関連事務局	International-section@rid2800.jp
白鷹	shirataka@rid2800.jp	地区ホームページアドレス	http://www.rid2800.jp/

地区メールアドレス使用上の注意

地区のメールアドレスは、迷惑メールの除去サービスを設定しておりますので、メールを送信する際は次の点にご注意ください。

- ① 件名や本文を必ず入れてください。
- ② 一度に複数の地区メールアドレスに同文メール(70%以上同じ文章)を送信する場合、本文に「ロータリー」の文字を入れてください。
- ③ 英文のみのメールは、削除しております。削除されないようにするには、本文中に次の文字のどれかを入れてください。

「Rotary ROTARY」

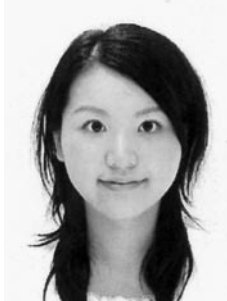
- ④ 英文メールを削除されては困るクラブは、設定を外しますので地区ICO担当までご連絡ください。(各事務所以外は、全て英文メール削除の設定になっています。)

※但し、地区メールアドレスから他のアドレスへ転送設定している場合は、迷惑メール除去サービスは適用されません。ご使用アドレスのプロバイダのサービスをご利用ください。

R財団
奨学生

ロータリー財団国際親善奨学生としての1年

～知識では得られない貴重な体験を積む～



ロータリー財団
奨学生

よし だ ひろ こ
吉 田 広 子

【略 歴】

1983年12月6日 山形県山辺町生まれ
1996年3月 山形市立双葉小学校 卒業
1999年3月 山形市立第八中学校 卒業
2002年3月 山形県立山形中央高等学校 卒業
2002年4月 大東文化大学
文学部 英米文学科 入学
2005年8月 ロータリー財団
国際親善奨学金試験 合格
2006年3月 大東文化大学 英米文学科 卒業
2006年5月 オレゴン大学(アメリカ)
ジャーナリズム学科
入学許可証取得
2007年6月 国際親善奨学生として
オレゴン大学での学業修了

私は2006年9月から2007年7月までの1年間、ロータリー財団国際親善奨学生としてアメリカ・オレゴン州にあるオレゴン大学に留学しました。この1年は、私にとって全てが新鮮で興味深く、価値観や人生観にも大きな影響を与えました。このような素晴らしい機会を与えて下さったロータリーの皆様には心から御礼を申し上げたいと思っています。将来は新聞記者か雑誌のライターになることが目標であるため、全米でもトップテンに入ると言われるジャーナリズムプログラムを持つオレゴン大学で一年間学んだことは私にとってとても大きな財産となりました。以下、この1年に学んだ事や感じた事をご報告致します。

1. 大学でジャーナリズムを学ぶ

オレゴン州は、アメリカ西部にありカリフォルニア州に隣接する州です。気候は温暖で生活、勉学には最高の環境でした。アメリカは9月が新学期で7月に学期末を迎えます。私は英語の語学力に当初不安があったため、秋学期ではまず、留学生向けの英語集中コースを受講、同時にマスメディア入門クラスやヒップホップダンスも履修しました。冬学期では、ジャーナリズム学科の中でも一番厳しい授業の一つと言われるライティングのクラスやメディアにおけるマイノリティ(少数民族)についてのクラス、春学

期は、世界のメディアシステムを学ぶインターナショナルコミュニケーションのクラスを履修しました。私は教育問題やマイノリティについての関心があったため、ジャーナリズムの基礎クラスでの授業に加え、興味のある分野の授業もできる限り履修しました。“書くこと”、“伝えること”で、“国際理解と世界平和”に貢献したいという思いがより一層強くなり、これらの授業で単位を取得できたことは私の自信にもつながりました。

2. ホストファミリーとの暖かい触れあい

留学での1年は、知識として知ることと経験として知ることの大きな違いを実感した1年でもありました。語学力の問題や文化の違いから、留学生にとって地元社会になじむことは簡単ではありません。そのギャップを埋める意味からも、毎週火曜日に行われる地元ロータリークラブの例会や地域のボランティアにも積極的に参加し、できるだけアメリカ社会を体験できるよう努めました。ロータリーの皆様、特に顧問ロータリアン、ホストファミリーは、本当の家族同様に接してくれて、クリスマスやイースターなどのイベントがある毎に誘って頂きました。この触れあいによって、アメリカの伝統的な行事やライフスタイル、価値観などを学ぶことができたと思っています。最初の3ヶ月は、大学の寮に住んでいましたが、2007年1月からはアメリカ人学生4人が住む家へ引越し、ハウスシェアで生活を始めました。気さくで親切な彼らと半年間暮らし、一般的なアメリカ人の大学生活を共有できたことはとても有意義でした。



3. 格差社会のアメリカ

まず、私が留学して実感したのがアメリカは大変な格差社会であり、そこから感じたのは日本でもこれからますます格差は大きな問題になっていくだろう、ということでした。ワーキングプアも大きな社会問題とされています。私が住むユージンという町では、目を凝らせばいたる所で貧困を見つけることができました。公園の近くに小さなトレーラーを止め生活する人、道端で花を売って生活する人、お金や食べ物を恵んでもらって生活する人、閉館する夜中12時まで図書館で暖を取って過ごす人、また5人に1人の割合で子供達は食料不足の危機に瀕しているといわれています。また、金曜の夜にパーティを開けば、幾人かの人が、缶やボトルを収集するため家を訪ねてきたり、早朝になればごみ収集箱をあさっていたりします。缶やボトルをスーパーマーケットに持っていけば、1つ5セントで交換してもらえるからです。アメリカの社会構造がいけない、教育がいけない、働かない本人が悪い、などのいろいろな意見があり、格差を縮める具体的な解決策は見つかっていないようです。

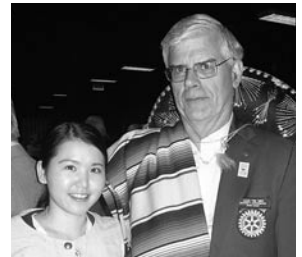
4. 日本文化を伝えて

ロータリーの留学生は、国際親善使節としての使命を持つと考えます。私はアメリカ文化を積極的に体験することと同時に、日本(特に地元である山形)について多くの人に知ってもらうよう努めました。ロータリーの例会にも積極的に参加したことは述べましたが、そのユージンロータリークラブでは一番のメインイベントのダックレース、フリーウェイやスキナーズビューでのごみ拾い、フードレスキューのためのボランティア、サルベーションアーミーと呼ばれる募金活動をしました。ダックレースは一種のチャリティーであり、チケット代を児童相談所に寄付するのが目的です。また、日本文化を伝えるために、ロータリークラブで着物を着用しスピーチし、事前に用意しておいた山形に関するパンフレットをロータリーのメンバー

だけでなく、多くの人に配りました。特に、温泉と料理に興味を持ってくれた方が多く、近いうちに日本を訪れたいと言って下さった方も何人かおられました。

5. 将来の奨学生への助言

今後もこの留学生のプログラムは継続されていくと思いますが、留学生になられた方には次のようなアドバイスをさせて頂きたいと思います。まず第一に、支援して下さったロータリーの皆様への感謝の念を忘れず、国際親善奨学生としての使命や責任を果たすように努めて欲しいと思います。それと同時に、必要以上にプレッシャーを感じず、気楽に留学生活や文化の違いを楽しむことも大切です。また、勉強は辛く、楽しい事ばかりにつき目が行きがちになりますが、奨学生として節度はきちんと守っていただきたいと思います。次に、国際親善奨学生として日本文化だけでなく、スポンサークラブを紹介する事も重要です。留学以前に、町役場や県の観光課を訪ね、英語版のパンフレットや地域紹介ビデオを用意しましたが、英語がつかない時期でも自分の出身地を紹介するのに非常に役立ち、多くの方が興味を持って下さいました。



6. 最後に

この留学生としての1年は、私の人生を変えた非常に素晴らしい一年でありました。この貴重な機会を与えて下さったロータリーの皆様の感謝の念は忘れることなく、この絆を一生大切にしていきたいと思います。スポンサーロータリークラブで帰国後に自身の経験や感謝の念を伝えることは、私を応援して下さいました方々へのお礼だと思います。また、未来の奨学生のためにオリエンテーションやそれ以外でも、自身の体験を伝え、より多くの人にアドバイスできれば望ましいと思っています。将来はジャーナリストとして自身の目標を実現し、成長した姿を見せていけるように努めたいと願っています。ありがとうございました。

ポールハリスフェロー・新入会員・物故会員

ポールハリスフェロー



鈴木 明朗 君
所属クラブ：河北RC
表彰回数：3回



阿部 順紀 君
所属クラブ：河北RC
表彰回数：2回



和田 光雄 君
所属クラブ：河北RC
表彰回数：2回



林 保彦 君
所属クラブ：河北RC
表彰回数：初回



和田 辰雄 君
所属クラブ：河北RC
表彰回数：初回



佐藤 隆一 君
所属クラブ：余目RC
表彰回数：マルチ

新入会員



高橋 正晃 君
所属クラブ：酒田スワンRC
入会日：2007.6.5
職業分類：建設・機械設置



佐藤 道子 君
所属クラブ：酒田スワンRC
入会日：2007.6.12
職業分類：教育



皆川 賢治 君
所属クラブ：高阜RC
入会日：2007.7.1
職業分類：縫製業



海老名 悟 君
所属クラブ：米沢中央RC
入会日：2007.6.20
職業分類：呉服小売



結城 誠 君
所属クラブ：山形西RC
入会日：2007.6.25
職業分類：バス事業



高橋 和仁 君
所属クラブ：山形西RC
入会日：2007.6.18
職業分類：普通銀行



佐藤 友昭 君
所属クラブ：山形西RC
入会日：2007.6.25
職業分類：普通銀行



田中 豊 君
所属クラブ：鶴岡RC
入会日：2007.7.3
職業分類：電気工事



海野阿生良 君
所属クラブ：南陽東RC
入会日：2007.7.3
職業分類：サービス業



町田 幹夫 君
所属クラブ：南陽東RC
入会日：2007.7.17
職業分類：電気工事



菅原 隆之 君
所属クラブ：寒河江RC
入会日：2007.7.12
職業分類：電気工業



荒木 浩 君
所属クラブ：寒河江RC
入会日：2007.7.12
職業分類：冠婚葬祭業

物故会員



川島 良博 君
米沢中央RC
2007年6月22日 逝去
享年63歳

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます



2007-08年度
国際ロータリーゾーン 1.2.3.4 (A)

第36回
ロータリー研究会ご案内

日時 平成19年11月20日(火)~23日(金)

会場 東京 ホテルグランパシフィックメリアン

ガバナー公式訪問記 7月17日～31日

ガバナー 大友 恒則

7月17日(火)酒田スワンロータリークラブから7月31日(火)鶴岡ロータリークラブまで、9クラブの公式訪問の感想を今月は話してみたい。

訪問回数も7回目から15回目となる訳であります。回を重ねて徐々に慣れてくるものと考えていましたが、一つ一つのクラブの特性の様なものがあり、緊張の連続でした。小松、丸山、両ガバナー補佐の力をお借りしての訪問でした。

いずれのクラブにおきましても、会長・幹事さんのクラブ運営に対する誠実さに感心致します。会員数の大小に関わらず、例会の運営も手を抜く事なく、忠実にルールに従って行われる状況は少人数のクラブにあっては何とも照れ臭い感じもないのではないが、それなりに相互に身にしみるものがあります。どのクラブも会員の増強には意欲を示されていると同時に、自分のクラブのある地域人口のバランス、その職種の数等の問題もあり、増員の難しさを感じます。

一方、会員の勧誘には会費の問題があります。

年会費を20万円以上の設定では、町単位のクラブまた、後発のクラブに於いては、極めて困難であり、クラブ運営の予算との関係に於いても厳しさが感じ取れます。特に15名以下のクラブに於いては分担金の占めるウェイトが予算の35%を超える等、独自の活動資金に窮する状況にあり、地区運営は勿論、R Iの運営も相当の努力の必要性を感じます。必要な会費の納入が会員資格の条件ではあるが、それ以上に各クラブ会員の誠実な人間性に触れるにつけ、ロータリークラブの有り様に不安を感じます。人間性(ロータリアンとしてふさわしい)豊かな「人間」優先か、金銭的豊かさが優先か、今後のロータリークラブのあり方を考えねばと思います。勿論両者を満足せしめている事にこした事はありませんが、ローカルな地方にとっては困難な事でもあります。がしかし、ロータリーは致します。

毎回の訪問に際し、クラブ幹部の皆様は勿論の事、会員全員が温かく迎えて下さる心の豊かさにロータリアンである事に誇りを感じますと同時に2800地区内多くの仲間がおられる事に力強さと責任の重さを痛感に感じます。



(2007.7.17 酒田スワン RC)



(2007.7.18 八幡 RC)



(2007.7.19 立川 RC)



(2007.7.20 鶴岡西 RC)



(2007.7.24 余目 RC)



(2007.7.25 酒田湊 RC)



(2007.7.26 鶴岡南 RC)



(2007.7.27 東根 RC)



(2007.7.31 鶴岡 RC)

クラブ会員数

ブロック	No.	クラブ名	2007.7.1 会員数	内女性会員	2007.7.31 会員数	内女性会員	年初からの増減数		増減数内 女性会員	当月増減	
							増	減		増	減
第一ブロック	1	酒田	40	4	40	4					
	2	酒田東	35	2	35	2					
	3	遊佐	12		12						
	4	八幡	6		6						
	5	酒田中央	38		38						
	6	酒田スワン	16	5	16	5					
	7	平田みすみ	6	1	6	1					
	8	酒田湊	15	2	15	2					
第二ブロック	9	鶴岡	45	5	46	5	1			1	
	10	鶴岡西	42	3	42	3					
	11	余目	38		38						
	12	立川	24		24						
	13	鶴岡東	52	3	52	3					
	14	鶴岡南	16	2	16	2					
第三ブロック	15	天童	49	2	49	2					
	16	村山	27		27						
	17	新庄	23	2	23	2					
	18	尾花沢	24		24						
	19	東根	44		44						
	20	最上	23	1	23						
	21	天童東	56		56						
	22	天童西	28		28						
	23	東根中央	37	1	37	1					
	24	尾花沢中央	19		19						
	25	村山ローズ	22	5	22	5	1				1
	26	新庄あじさい	25		25						
第四ブロック	27	寒河江	53		54		2	1		2	1
	28	大江	24		24						
	29	朝日	15		15						
	30	河北	37		37						
	31	寒河江さくらんぼ	35		35						
	32	西川月山	22		22						
第五ブロック	33	山形	85		84		1	2		1	2
	34	上山	22	1	22	1					
	35	山形西	95		95		1	1		1	1
	36	山形北	78	1	80	1	2			2	
	37	山辺	33		34	1					
	38	山形南	60		60						
	39	中山	17		17						
	40	山形東	44		44						
	41	山形中央	39	5	40	5	1			1	
	42	山形イブニング	37	2	36	1		1		1	1
	第六ブロック	43	米沢	60	6	60	6				
44		長井	32	2	32	2					
45		米沢上杉	56	4	56	4					
46		南陽	23	2	23	2					
47		白鷹	18		18						
48		高畠	49	3	49	3	1			1	
49		小国	18		18						
50		米沢中央	52	2	52	2					
51		南陽東	46		48		2			2	
52		長井中央	23		23						
53		川西ダリア	16	1	16		1	4		1	4
54		米沢おしょうしな	31	1	31	1					
55		南陽臨雲	36		36		1			1	
地区全体			1918	68	1924	66	14	9	2	14	9

第2800地区 ロータリーダイジェスト

★山形 RC

2800回目の例会を祝う



当クラブは、団塊世代を中心に老壮青バランス良く85名。昭和25年8月5日の設立で認証番号が7587、この数字に倣って

「和やかな」運営を心掛けております。7月18日が、2800回目の例会にあたり、お赤飯で記念すべき通過点を祝いました。毎年11月に山形市郷土館(旧済生館三層楼)周辺の清掃、5月には、千歳山万松寺での早朝座禅例会を恒例としております。来春は姉妹クラブ宮崎RCの創立55周年に参加の予定です。

★山形東 RC

創立20周年記念式典



このたび満20年という記念すべき節目を迎えることになりました。これを機に新しい10年に向けて会員一同心を新たに前進して参る所

存です。来る9月15日(土)に山形・オーヌマホテルを会場に記念式典・祝賀会・講演会を開催いたします。講演会は「北の国から」の倉本聰氏による「北海道から考える」を予定しております。詳しくは事務局へ。

《メールアドレス変更のご連絡》

◎酒田東ロータリークラブ
sakata-e@mx22.tiki.ne.jp

★山形北 RC

「交換留学生と国際交流」



「40周年を意義ある年にしよう」当クラブ今年度テーマの元、熊谷丸が船出。最大事業、40周年記念事業実行委員会が昨年より、

2008.3.29に向け活躍中。国際奉仕も今年2月より交換留学生受入の準備を開始。7月20日～30日迄実施無事終了した。当クラブと姉妹クラブになっている米国コロラド州ボルダーバレーRCより男女2名の高三学生が18時間の長旅も厭わず来形。山形市長訪問、BV市長のメッセージを伝達、メディアセンター・文翔館見学等、山形の夏と人情を充分満喫して離形した。

《クラブ幹事変更のご連絡》

◎川西ダリアロータリークラブ
2007～2008年度幹事
鈴木雅博



《例会場変更のお知らせ》

◎中山ロータリークラブ
料亭「花まる」
〒990-0401 東村山郡中山町長崎3011-1 ☎023-662-2800
例会日：月曜日 12時15分より

★山形南 RC

来年度に向け準備中



来年度にクラブ創立以来初のガバナを輩出する山形南ロータリークラブです。創立37年を迎えます。来年度に向けて会員一同準備に入っています。ロータリー本質、伝統を守りつつ、新たな考え方で、変革と今後のロータリーの基盤作りを考えながら、理事役員、会員一同一緒になって行動しています。今までに無い様な企画も取り入れ、来年度に向けて盛り上げて行きたいと思っています。宜しくお願ひします。写真は、今年度最初の行事「家族ピアパーティーと花火大会」です。



編集後記



月信、読んで頂いてますでしょうか。委員一同、頭と手をフル稼働し短時間の編集作業になってきました。机にはコーヒー・麦茶・ケーキ・笹かまが並び口の方が忙しく動き続けている方も…。

最近、米沢市内いたるところにNHK大河ドラマ「天地人」直江兼続のぼりがはためいています。

歴史の街、米沢。10月の地区大会、皆様を心よりお待ちしております。

ガバナー月信委員 赤間 俊明
(米沢中央ロータリークラブ)

Yonezawa Information



9 SCHEDULE 月の地区スケジュール 新世代の為に月間

日	曜日	地区行事	【公式訪問】
9/1	土	ロータリー財団セミナー 第5ブロック(山形市) 第2回青少年交換小委員会・帰国学生・来日学生オリエンテーション(鶴岡市)	
2	日	第2回YEO会議(鶴岡市)、ロータリー財団セミナー第5ブロック(山形市) 第2回青少年交換小委員会・帰国学生・来日学生オリエンテーション(鶴岡市)	
3	月		
4	火		【山辺】
5	水		【村山ローズ】
6	木		【山形北】
7	金	第9回ロータリー日韓親善会議(青森)	
8	土	第9回ロータリー日韓親善会議(青森) ロータリー財団セミナー 第6ブロック(米沢市) ロータリー財団オリエンテーション	
9	日		
10	月		【中山・山形イブニング】
11	火		【山形南】
12	水		【新庄あじさい】
13	木		【新庄】
14	金		
15	土	山形東RC20周年 第1回諮問委員会(山形市)	
16	日	GETS	
17	祝	敬老の日 GETS	
18	火		
19	水		【朝日】
20	木		【白鷹】
21	金		【山形東】
22	土	酒田東RC40周年	
23	日	秋分の日	
24	祝	振替休日	
25	火		【山形中央】
26	水		【山形】
27	木		【高島】
28	金		
29	土	武田GE事務所開所式(山形市)	
30	日		
10/1	月		
2	火		
3	水		【西川月山】
4	木		
5	金		
6	土	地区大会(米沢市)	
7	日	地区大会(米沢市)	
8	祝	体育の日	
9	火		
10	水		【小国】

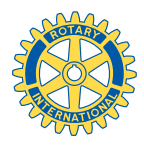
伝国の杜

Denkoku-no-mori

平成13年9月、上杉家入部400年、上杉鷹山公生誕250周年祭に合わせて開館した。旧米沢工業高校跡地に総工費80億円を投じて建設されたもので、県の施設である置賜文化ホールと米沢市上杉博物館が合築されている。愛称は公募で決まった「伝国の杜」。ホールは移動式の本格的な能舞台を持つ。上杉博物館には国宝の「洛中洛外図」の金屏風の他、同じく国宝に指定された3000点の上杉文書がおさめられている。米沢の歴史、文化遺産を知る上で必見の場所となっている。

4つのテスト

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの ためになるかどうか



国際ロータリー第2800地区
2007年～2008年度ガバナー
大友恒則

ガバナー事務所

〒992-0045 山形県米沢市中央2-3-16
TEL 0238-26-1521
FAX 0238-26-1522
E-mail office2007@rid2800.jp
URL <http://www.rid2800.jp/>